

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.
(仮称)テックランド米子2号店

欄に数値またはコメントを記入

図使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		3.0	0.15		-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-			
2 界壁遮音性能			-		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		3.0	0.35		-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-			
1 室温		3.0	0.50		-			
3 外皮性能		3.0	0.17		-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.0	0.25		-			3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.50		-			
1 屋光率			-		-			
2 方位別開口			-		-			
3 屋光利用設備		3.0	1.00		-			
3.2 グレア対策			-		-			
2 屋光制御			-		-			
3.3 照度			-		-			
3.4 照明制御		3.0	0.50		-			
4 空気質環境		3.0	0.25		-			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.50		-			
2 自然換気性能			-		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50		-			
4.3 運用管理		3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			0.30		-			3.1
1 機能性		3.1	0.40		-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-			
1 広さ・収納性			-		-			
2 高度情報通信設備対応			-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-			
3 内装計画		3.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		4.0	0.50	汚れにくい材料を選定した	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31		-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.0	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.29			3.4
3.1 空間のゆとり			4.4	0.31			
1	階高のゆとり	階高3.7m以上とした	4.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ	壁長比率0.1以下とした	5.0	0.40	5.0		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR1 建築物のエネルギー性能			-	0.40	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		省エネ材料を採用した、ERR換算値30.0%	4.7	0.30			4.7
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=9.4%	4.7				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63			2.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22			3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	使用材料は全てF☆☆☆☆品以上とした	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して50%以下	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止			-	-			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.67			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.33			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制	廃品置場を設けている	4.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			